

## 彙 報

昭和 27 年 4 月 5 日 (土) 評議員會 午前 10 時 於東大言語學研究室

1. 前年度決算 (別項参照) 承認。
2. 第 7 回國際言語學者會議 (9 月上旬, 於ロンドン) に本學會代表として  
滯英中の龜井孝氏を推す事に決定。

同日 第 5 回東京例会 午後 2 時, 於東京都立大學

發表 「フランス語のテンスとアスペクト」 川本茂雄氏

5 月 10 日 (土) 第 6 回東京例会 午後 2 時 於慶應義塾大學

發表 「ロシア語のアスペクト」 井桁貞敏氏

5 月 10 日 (土) 11 日 (日) 第 6 回九學會聯合大會

午前 9 時 於國立博物館講堂

本學會關係の研究發表題目及發表者

共同課題「交通」: 「言語と交通」 佐藤 誠氏

同課題「川」: 「14世紀の北米河川交通を示す一碑文について」

泉井久之助氏

5 月 27 日 (火) 日本民俗學會から引繼いで九學會聯合の當番學會となる。

6 月 14 日 (土) 第 14 回日本言語學會大會 午後 1 時半 於東大法文經 37  
番教室

開會の辭 高津春繁氏

會務並に決算報告

講演

1. 「歐洲言語學界瞥見」 前田護郎氏

2. 「敬語」 金田一京助氏

閉會の辭 泉井久之助氏

(出席者 百數十名)

同日 晚餐會 於新學士會館 (出席者 26 名)

同日 評議員會 (晚餐會に引續き)

1. 九學會聯合當番學會理事を次の諸氏に委嘱する。  
金田一京助(代表理事) 服部四郎(常務理事) 高津春繁(東大) 泉井久之  
助(京大) 西脇順三郎(慶大) 川本茂雄(早大)
2. 「言語研究」22 號より活版印刷とし, 年二回刊とする。
3. 秋の講演會は京都大學で開催。
4. 東大特別研究生風間喜代三氏に幹事を委嘱する。

6月15日(日) 故有坂博士追悼講演會 午後1時半 於東大法文經29番教室  
(國語學會・日本音聲學會と共同主催)

開會の辭 時枝誠記氏

講演

1. 「有坂博士の思い出」 金田一京助氏
2. 「奈良時代のヌとノの萬葉假名について」 大野 晉氏
3. 「有坂博士と重紐論」 河野六郎氏
4. 「有坂秀世博士と音聲學研究」 大西雅雄氏

閉會の辭 宮良當壯氏

故有坂博士の母堂・御家族も出席され、非常な盛會であつた。

7月5日(土) 第7回東京例會 午後2時 於順天堂大學

發表「ギリシア語のアスペクト」 高津春繁氏

10月4日(土) 第8回東京例會 午後2時 於學習院大學

發表「アイヌ語の動作態」 金田一京助氏

11月1日(土) 第27回講演會——新村會長喜壽祝賀記念講演會

午後1時 於京都大學圖書館

講演

1. 「南洋の言語と日本語」 泉井久之助氏
2. 「長崎創刊拉語講義」 吉町義雄氏
- あいさつ 新村會長  
(代讀 松平千秋氏)
3. 「新村先生と國語學」 金田一京助氏

來會者約150名で非常に盛會であつたが、新村會長は御風邪の爲出席されず、メッセージを送られた。

12月2日(火) 評議員會 午後3時 於東大言語學研究室

1. 科學研究費等分科審議會委員推薦の件

日本音聲學會と合同し順位を附し二名推薦する様要請あり、i 神保格氏、  
ii 服部四郎氏、を推薦と決定。

2. 九學會連合明年度大會共同課題の件。

講演は國語研究所關係者に委嘱する。

特別講演は金田一副會長。

3. 役員改正の件。

評議員を擴充し、新に委員をおく。人選に関しては評議員會で原案作製の上検討する。

12月6日(土) 第9回東京例會 午後2時 於東京外國語大學

發表「意味に関する一考察」 服部四郎氏

昭和 38 年 2 月 7 日 (土) 第 10 回東京例会 午後 2 時 於國學院大學

發表「語義の分類について」

林 大氏

2 月 28 日 (土) 評議員會 午後 1 時 於東大言語學研究室

1. 役員改正の件。原案及び之に對する評議員の意見検討。  
(詳細次號)
2. 28 年度大會の件。會場 早稻田大學。日時 5 月 23 日 (土) 午後。  
講演者は川本茂雄、江實兩氏の豫定。
3. 會費値上の件。28 年度以降會費一年 500 圓とする。  
會誌は年二回 (一回 100 頁程度) 發行とする。
4. 九學會連合明年度大會の件。大會會長 金田一京助氏、大會委員長  
泉井久之助氏、總務委員 服部四郎氏とする。

#### 九學會連合關係記事

10 月 7 日九學會連合關係理事會を開き、明年度の九學會連合共同調査及び明年度大會に關する言語學會としての提案を決定した。

共同調査第 1 案 能登調査繼續

第 2 案 琉球調査

大會 1. 能登に關する研究發表

2. 琉球に關する研究發表 (上記第 2 案の豫備研究の意味において)

其後九學會連合理事會において共同調査に關しては上記第 1 案を採擇、第 2 案を否決した。又大會の共同課題には「性」を選ぶ事に決定した。

以上

#### 會員異動

受贈圖書目錄

昭和 27 年 4 月

文學研究 第四十三輯	九州文學會
地理學評論 第 25 卷第 4 號	日本地理學會
東方學報 第 20 冊	京都大學人文科學研究所
國語國文 第二十一卷第二號	京都大學國文學會
民族學研究 第 16 卷第 34 號	日本民族學協會
Language Vol. 27. No. 4.	
Haguenauer, C.; Morphologie du Japonais Moderne 著者	
日本文學論究 第八冊, 第九冊	國學院大學國文學會

昭和 27 年 5 月

天理大學學報 第七輯	
東洋文化研究所紀要 第二冊	
寺川・金田一・稻垣共編 國語アクセント論叢	編者
國語國文 第二十一卷第三號	京都大學國文學會

地理學評論 第 25 卷第 5 號, 第 6 號

英語英文學研究 No. 2

送り假名法資料集

語彙調査

文學會誌 第三卷第一號

福井大學學藝學部紀要 第 1 號

昭和 27 年 6 月

國語學 第九輯

國語國文 第二十一卷第四號

朝鮮學報 第二輯, 第三輯

東方學報 第 21 冊

東方學 第四輯

昭和 27 年 7 月

三重縣立大學研究年報 第一部第一號

近畿方言 11, 12, 13, 14.

地理學評論 第 25 卷 第 7 號

宗教研究 第 129 號

人類學雜誌 第 62 卷第 3 號

昭和 27 年 8 月

地理學評論 第 25 卷第 8 號

國語國文 第二十一卷第六號

昭和 27 年 9 月

宗教研究 第 130 號

地理學評論 第 25 卷第 9 號

國語國文 第二十一卷第七號

宗教研究 第 131 號

昭和 27 年 10 月

人類學雜誌 第 62 卷第 4 號

近畿方言 15.

跡見學園國語科紀要 1.

國語學 第十輯

東洋文化研究所紀要 第三冊

昭和 27 年 11 月

國語國文 第二十一卷第五號

文學研究 第四十四輯

東洋學報 第 32 卷 2 號 3 號 4 號

日本地理學會

福井大學

國語研究所

”

山口大學

國語學會

京都大學國文學會

天理大學

京都大學人文科學研究所

東方學會

近畿方言學會

日本地理學會

日本宗教學會

日本人類學會

日本地理學會

京都大學國文學會

日本宗教學會

日本地理學會

京都大學國文學會

日本宗教學會

日本人類學會

近畿方言學會

國語學會

京都大學國文學會

九州文學會

東洋文庫

第 33 卷 1 號 2 號 3/4 號

第 34 卷 1-4 號

第 35 卷 1 號 2 號

昭和 27 年 12 月

國語研究 創刊號

近畿方言 16

ドイツ文學 第 9 號

北里闌著 國うみの辭

國學院大學國語研究會

近畿方言學會

日本獨文學會

著 者

昭和 28 年 1 月

國語國文 第二十一卷第十一號

日本文化 第三十一號、第三十二號及別冊

山口大學 文學會誌 第三卷第二號

馬淵和夫著 玉篇佚文補正

歷史學報 第一輯第二輯

京都文學國文學會

天理大學

東京文理大國語國文學會

天理大學朝鮮學會

昭和 26 年度會計報告

1 收 入	234.896.19
繰 越 金	30.167.28
會 費	95.881.50
雜 誌 賣 上	6,508.00
補 助 金	100.000.00
利 息	1.839.41
寄 附	500.00

2 支 出	205.302.00
印 刷 費	109,275.000
發 送 費	17,497.00
編 集 費	47,000.00
通 信 費	7,673.00
大會講演會費	8,921.00
九學會聯合	4,870.00
文哲史聯合	3,000.00
事務用品	2,816.00
雜 費	4,250.00

3 差引殘高	29.594.19
--------	-----------